



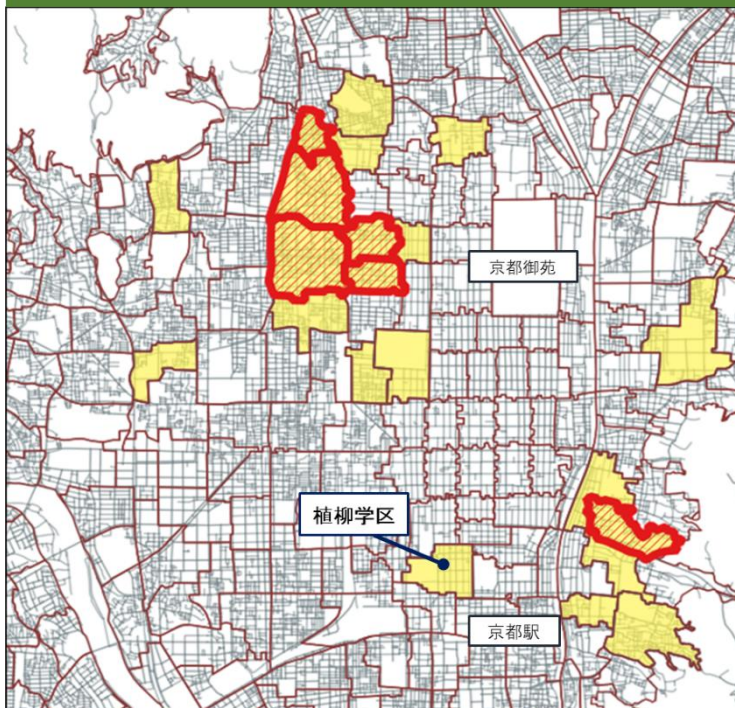
植柳防災まちづくりニュース【第1号】

植柳学区では、令和6年度から「防災まちづくり」に取り組んでいます。今年度は、秋の防災会議と避難訓練で植柳学区の災害リスクを学び、この2月から防災まちあるきで地域の防災危険箇所や災害時に活用できそうな場所等を調査しました。

「防災まちづくり」とは？
命と財産を守るために、
災害が起こる前から災害に強い
「まち」をつくる取組です。

植柳学区は京都市の「**密集市街地**」に選定されており（下図）、災害時には写真（右）のような危険があります。そのため、災害が起こる前から、自宅やまちの対策や整備をしておくことが大切です。

京都市内の密集市街地 計21地区



黄色：全国共通指標等による密集市街地、赤囲い：優先地区



阪神淡路大震災の様子【写真：神戸市】



阪神淡路大震災の様子【写真：神戸市】



管理不全状態の空き家(中京区)

裏面も見てね⇒

◆11月30日「避難訓練」 パネル展示と参加者アンケート

パネル展示で、密集市街地の危険性や防災まちづくり活動について紹介し、今後の予定や取組を知ってもらいました。また、参加者アンケートでは、**73%の方から「町内で防災上気になる場所がある」、96%の方から「防災まちづくりの取組に興味が出た」と回答**いただきました。（回答：約80名）



◆2～3月「防災まちあるき」 各町内の現状把握

町内会長はじめ学区の皆さんなど延べ83名が参加し、**各町内を防災の視点で隅々まで確認**しました。路地の避難経路や古くなったブロック塀などの危険箇所、消火器やAEDの場所などを確認し、まちあるきの後に巨大な地図に気づいたことを書込みました。

防災まちあるきへGO！



【参加者の声（一部）】

「井戸跡がある」「隣接路地に抜ける扉があるのに老朽化している」「消火器やAEDの場所を知れた」「消火器の期限や防火バケツの水の確認が必要だ」「屋内AEDの場所を確認したい」「民泊が増えた」「お寺や宿泊施設と連携できるのでは」など

気付いたことは地図へプロット！



◎今後の予定

令和7年度は、防災まちあるきでわかった現状や課題をとりまとめ、「防災まちづくり計画書」策定に向けて、皆さんと意見交換を行う予定です。こちらもぜひご参加ください。

時期	取組内容
2～3月	◎防災まちあるき（2月2日、2月9日、3月2日）※実施済
4月	○自治連合会総会（令和6年度の活動報告・令和7年度の活動計画）
5月以降	○意見交換

◎問い合わせ先

防災まちづくりに関するお問い合わせは、下記までお願いいたします。

075-222-3503（京都市都市計画局まち再生・創造推進室）

090-1887-9690（自治連合会：寺村）

発行：植柳自治連合会（2025年3月）